

各 位

2024 年 4 月 1 日

ダイビル株式会社

当社オフィス リニューアルオープンのお知らせ

ダイビル株式会社（大阪市北区、代表取締役社長執行役員 丸山卓）は、大阪市北区中之島の本社オフィスをダイビル本館 6 階に新たにオープンしました。また、東京都千代田区内幸町の日比谷ダイビル 1 階の東京オフィスも同時にリニューアルしましたので、併せてお知らせいたします。

■ 本社オフィス

（1）PR ビデオ



（2）新オフィスの特徴

本社オフィスについては、20～30 代の若手社員を中心としたプロジェクトチームにて「Spiral up! あしたもっと行きたくなるオフィス」というコンセプトのもと、創立 100 周年に合わせて大規模にリニューアルし、ライブオフィスとして運用を開始しました。

①オフィスビル事業者としてセンターオフィスのあり方を追求

「前向きな気持ちを持った人々がオフィスに引き寄せられ、リアルなヒト・モノ・コトとつながることで、好循環（プラスのスパイラル）が生まれる。オフィスが起点となり、人・企業・社会が「あした、もっと」良い方向へ向かう」との想いで、センターオフィス（本社・支社等の機能を持つオフィス）のあり方を追求していくオフィスを構築しました。

News Release

②創業の地である水都大阪をコンセプトに空間デザインを統一

活気あふれる街並み・水辺の居心地の良さを表現し、「ダイビルの街創り」を感じてもらえるような空間デザインとしました。

エントランス・会議室エリア [Riverfront]



コラボレーションエリア [Riverside]



タスクエリア [City]



ウェルネスエリア [Forest]



③前向きな気持ちで人々が集まる施策の実施

働く場としてコミュニケーション活性化・生産性向上を最大限促すため、自宅やサテライトオフィスには無い「オフィスならではの」施策を多数実施しています。今後もアップデートを重ねて、オフィスの存在価値を常に示せる環境を整備してまいります。

酸素ボックス



壁面プロジェクター



News Release

(3) パンフレット (PDFダウンロード)

チーム発足

- 2013年 中之島ダイビルからダイビル本部5階に移転
- 2018年 人事部 働き方改革推進担当 発足 → レイアウト変更の必要性再認識 (旧社ビルレイアウトを再検討)
- 2020年 新型コロナウイルス拡大により検討再開 組織風土調査を通してレイアウト変更の必要性再認識
- 2021年 若手社員4名 (平均28歳) を中心としたプロジェクトチーム発足

想いの整理

センターオフィスの形作りを追求する

- ・オフィス事業者として、課題の認識解決も手取りする存在を追求したい
- ・新しい働き方を追求する実践実験の場としたい
- ・活動を支えへ発信し、オフィス利用のノウハウを蓄積していくことでオフィス高層の価値に結びたい
- ・リニューアル後もアップデートし続けるような仕組みをつくりたい

またたくるオフィスをつくる

- ・テレワーク環境下では、偶発的な交流も生み出す存在を追求したい
- ・文化や一体感の醸成、人材育成、建設的な議論「アイデア」創出等に対する意識的な取り組みが必要
- ・従来のオフィスにはなかった、人が必要とするようなスペースを創りたい

ワークショップ

センターオフィスとは?

- ・オープンな空間
- ・フレキシブルなレイアウト
- ・多様な働き方をサポートする環境
- ・多様な働き方をサポートする環境
- ・多様な働き方をサポートする環境

果たたくるオフィスとは?

- ・新しい働き方を追求する実践実験の場としたい
- ・活動を支えへ発信し、オフィス利用のノウハウを蓄積していくことでオフィス高層の価値に結びたい
- ・リニューアル後もアップデートし続けるような仕組みをつくりたい

Spiral up

あしたもっと行きたくなるオフィス

ここに来ると前向きな気持ちになれる

日々アップデートするオフィスに人々が引き寄せられリアルなヒト・モノ・コトがつながることで好循環 (プラスのスパイラル) が生まれる

オフィスを起点とし人・企業・社会が「あした、もっと」良い方向へ向かうと感じて私たちはオフィスの価値を体現し続ける

デザインコンセプト

水の回廊・大阪

大阪の都市にとって、文化や経済の発展の中心であった河川の風景水路を人々が活気に行き交い、水辺では豊かなコミュニケーションが行われる屋心地の良いその風景を、新しいダイビル本社の空間に落とし込む

森の香・音・触れ心地で心も体もリフレッシュ

四季を感じる待ち合わせスポット

タスクエリア [City]

本館・副館と2つの多様な仕事をサポートする多様なワークスペースを配置し、業務・休日の両方で活用できる

多様な社員と「家」でつながる

さまざまな社員と気軽に雑談

コラボレーションエリア [Riverside]

オフィス利用の中心となるエリアで、多様な働き方をサポートする多様なワークスペースを配置し、業務・休日の両方で活用できる

水辺 [River]

行き交う人々の活気も動きがオフィスに活気をもたらす

サポートエリア [Deck]

働く上での必要な施設・設備を揃える

世界を飛び回る気分をビデオ会議

健康になりながら健康ボックスで打合せ

第一歩から情報をインプット

いろいろな仕器をお試し

エンタランス・会議室エリア [Riverfront]

外から本館へ入る玄関前。会社の顔となり、人と人を繋ぐゾーンの

過去〜未来の大層な刺激を受ける

みて、きかせて会社をもっと知る

PM: 内閣府政策設計 | 東京・大阪両拠点 | 東京・大阪両拠点 | 株式会社 三井物産株式会社 | 株式会社 三井物産株式会社

News Release

■ 東京オフィス

本社オフィスのリニューアルを踏まえ、東京オフィスにおいてもコミュニケーション活性化や生産性および社員満足度の向上を目指して、リニューアル工事を実施しました。

デザインコンセプトとして人と人を重ねて接点を作る「マンナカ」（緑色）、働き方や関係性を深める「マワリ」（白色）を配置するなどして、社員同士の新しい”接点”が生まれる空間としました。



以 上